

高校生ものづくりコンテスト 大分県大会が開催されます

6月14日（金）に高校生ものづくりコンテスト大分県大会（九州大会予選）が、大分県立大分高等技術専門校で行われます。

この大会は、近年の若者の製造業離れが進み、ものづくりの技術・技能の継承が危ぶまれているなか、産業を支える技術・技能水準の向上を図るとともに、若年技術・技能労働者を確保し、育成することを目的とし、また、各高等学校で取り組んでいるものづくりの学習効果の発表の場として、全国工業高等学校長協会が毎年行っている大会です。

大会は、旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立、化学分析、木材加工、測定の7つの部門に分かれて実施されますが、自動車整備部門は一昨年から開催されており、今年で3回目となります。

当会報でも紹介しましたが、昨年は鶴崎高等学校機械科の須川滉道さんが優勝し、九州大会でも優勝、全国大会では準優勝と輝かしい成績を納めました。

大分県大会で優勝すると、7月14日に行われます九州大会に出場することができます。その九州大会も昨年に引き続き大分県で行われます。

当会も昨年の大分県大会、九州大会では、問題作成、大会運営、審査員として参加、また、全国大会に向けての訓練と、出来る限りの協力をさせていただきました。

競技の内容ですが、4つの課題があり、課題1は学科問題で残りの3つの課題は実技競技です。（課題2は測定作業、課題3は定期点検、課題4は故障診断）

それぞれ100点満点で合計400点満点で競い合います。

各課題は30分で、中には外部診断機を使った故障診断もあり、プロの整備士でも難しいと思われる問題を、各選手は時間内に次々に解いていきます。

当会としては今年も次代を担う若者の育成のため、大分県大会、九州大会への協力をさせていただきます。

興味のある方は是非見学に訪れてください。

開催日：（大分県大会）平成25年6月14日（金）9時～12時

（九州大会）平成25年7月14日（日）9時～12時

場 所：大分県立大分高等技術専門校

大分市下宗方1035-1